

地方の復活 ⇔ 地方(ジガタ)文書の復活 各地の過去情報のデジタル化から



【温故知新 戦略】
を地方創生の基礎に
各地域の「過去の情報」
に基づいた未来図の作成

★古文書が各地域で“消滅”の危機 ★デジカメ撮影(シルバー人材・専業主婦・障がい者・若年無業者等) ★基本技能を養成(伝授)

- 古文書の **現状** 「廃棄・消滅・経年劣化」「未調査・ホッタラカシ状態」「お蔵入り」「編纂室ゆき」等
なぜ廃棄? 「汚いから」…………… 解決(デジカメ撮影・分散管理)
なぜ廃棄? 「読めないから」…………… 解決(人工知能による [解読AI](#) - [OCR](#) 将来可能)

- 古文書の **価値** 「先人の 知恵と経験 の集大成」
「[識字率](#)が世界最高レベル」であった唯一の証拠
「世界遺産に相当する」と世界の学者方から賞賛の声
「唯一無二、地域の独自情報」
「天災(地震)・人災(戦争)の記録」もあり それらに崩壊されずに遺って在る

- 古文書の **役割** 「郷土を再認識」… 大量な過去情報を「産・官・学・民」で「地域改善を可能に」

- 発掘 から公開: 大量な過去情報の発掘 → デジタル化 → 解読(AI) → 公開判断(所有者等) → WEB公開 → 研究対象
- ★公開情報から未来へ → かつての生産食品の再確認 → 世界へ和の食材(レシピ含む)を NET販売・道の駅等 販路の拡大)
人物・出来事の記録 → 郷土資料センター等の増設 **地域の特性**(石・土壌・動植物等の科学的な再調査) → **地域の未来へ**